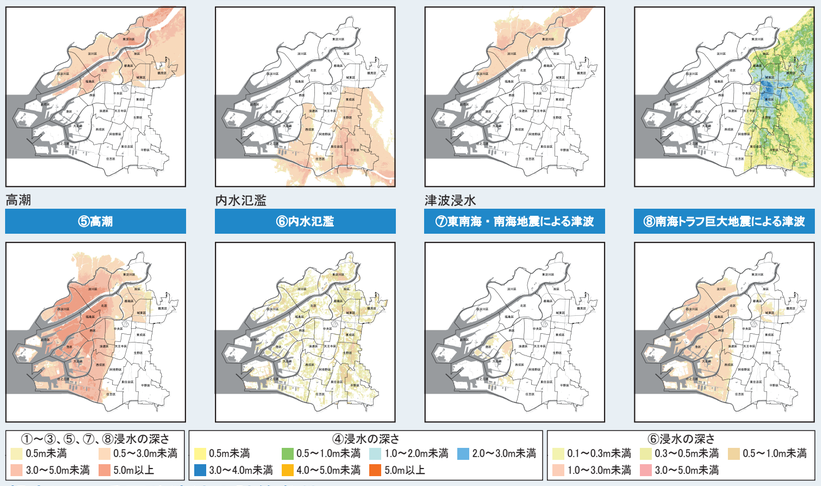
大阪市全域の浸水想定図

河川氾濫（堤防が決壊した場合）



想定している雨や津波の計算条件

災害種別		浸水想定種別	想定条件		公表年月	問い合わせ先	電話番号
河川氾濫	①	淀川	24時間総雨量360mm	想定最大規模降雨（発生確率1/1,000年程度）	平成29年6月	国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所	072-843-2861
	②	大和川	12時間総雨量316mm	想定最大規模降雨（発生確率1/1,000年程度）	平成28年5月	国土交通省近畿地方整備局 大和川河川事務所	072-971-1381
		東除川・西除川	24時間総雨量904.1mm 1時間最大雨量102.5mm	想定最大規模降雨（発生確率1/1,000年以上）	令和元年11月	大阪府富田林土木事務所	0721-25-1131
		石川	24時間総雨量724mm 1時間最大雨量195.5mm	想定最大規模降雨（発生確率1/1,000年以上）	令和3年1月		
	③	神崎川	24時間総雨量737mm 1時間最大雨量81.1mm	想定最大規模降雨（発生確率1/1,000年以上）	令和2年1月	大阪府西大阪治水事務所	06-6541-7771
		天竺川	24時間総雨量1,150mm 1時間最大雨量142.6mm	想定最大規模降雨（発生確率1/1,000年以上）	令和2年1月	大阪府池田土木事務所	072-752-4111
		高川	24時間総雨量1,150mm 1時間最大雨量145.4mm	想定最大規模降雨（発生確率1/1,000年以上）	令和2年1月	大阪府池田土木事務所 大阪府茨木土木事務所	072-752-4111 072-627-1121
		安威川	24時間総雨量776mm 1時間最大雨量189mm	想定最大規模降雨（発生確率1/1,000年以上）	令和2年3月	大阪府茨木土木事務所	072-627-1121
	④	寝屋川・第二寝屋川・平野川 平野川分水路・古川	24時間総雨量683mm 1時間最大雨量138.1mm	想定最大規模降雨（発生確率1/1,000年以上）	平成31年3月	大阪府寝屋川水系改修工営所	06-6962-7661
高潮	⑤	高潮	中心気圧910hPa（室戸台風級）、最大旋衡風速半径75km（伊勢湾台風級）、移動速度73km/h、経路は室戸台風を想定		令和2年8月	大阪港湾局危機管理担当	0725-21-7246
内水氾濫	⑥	内水氾濫	24時間総雨量549mm 1時間最大雨量147mm	想定最大規模降雨（発生確率1/1,000年程度）	令和3年3月	大阪市建設局下水道部調整課	06-6615-7594
津波	⑦	東南海・南海地震津波	マグニチュード8.6程度の地震が発生し、防潮扉（夜間、開放されているもの）などが閉まらなかった場合に津波による浸水が起きた場合（満潮時を想定）		平成16年3月	大阪港湾局計画課	06-6615-7782
	⑧	南海トラフ巨大地震津波	マグニチュード9.1程度の地震が発生し、最大クラスの津波による浸水が起きた場合（防潮堤の沈下や防潮施設の開閉状況を考慮）（満潮時を想定）		平成25年8月	大阪府危機管理室防災企画課	06-6944-6487

このパンフレットの作成者：大阪市危機管理室（TEL 06-6208-7384）
このパンフレットについては、大阪市危機管理室のホームページでもご覧になれます。
https://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/

令和3年3月

マイタイムラインってなに？

「マイタイムライン」とは、大雨や台風などの風水害にそなえて、一人ひとりの家族や生活の状況に合わせた避難行動、つまり「自分の逃げ方」を考えておくものです。「いつ」「誰が」「何をするのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざという時にあわてずに行動をとる助けになります。

記載例などはこちら

わが家の避難計画　大雨で河川氾濫が起きそうなとき

1 避難先

避難先を確認してメモしておきましょう。
状況に応じた避難先として、避難先①～③のすべてを確認しましょう。

原則

早めの避難先

■自宅・親戚宅・知人宅・職場など（最寄りの浸水しない安全な場所）
避難先①

■最寄りの避難所（最寄りの浸水しない安全な場所）
避難先②

逃げ遅れたら・・・

その場そのときで命を守れる場所へ

■最寄りの水害時（津波）避難ビル（最寄りの浸水しない安全な場所）
■高い建物や高い場所（最寄りの浸水しない安全な場所）
避難先③

2 避難を開始するまでに何をするかを考えましょう。

やることをチェック

情報収集
- □ 気象情報・避難情報を確認

避難の準備
- □ 非常持ち出し品・備蓄品を確認
- □ 必要なものの買い出し
- □ 家財等の２階等への移動開始
- □ 家の周りの点検
- □ 飛ばされそうなものの片付け
- □ 窓の施錠の確認
- □ 携帯電話の充電
- □ 避難所の開設状況の確認

連絡・声かけ
- □ 近所への声かけ
  - □ 避難の声かけをする　□ 一緒に避難する
  - 名前
  - 連絡先
  - □ 避難の声かけをする　□ 一緒に避難する
  - 名前
  - 連絡先
- □ 家族と連絡を取り合う（離れている場合）
- □ 避難の支援者に連絡（自力では避難が困難な場合）

その他
- □
- □

3 いつ避難を開始するかいつ何をするかを記入しましょう。

▶ 2 で確認した行動を参考にタイミングを確認しましょう。
▶ 避難のタイミングを書き込みましょう。

わが家の避難計画

緊急度 高

大雨が予測されるとき	記入欄「いつ避難する？」「いつ何をする？」
警戒レベル1 早期注意情報	例）非常持ち出し袋を再確認しておく［お母さん］
警戒レベル2 洪水注意報 大雨注意報	例）避難場所を再確認しておく［みんな］
警戒レベル3 危険な場所から高齢者等避難！	例）おばあちゃんとお母さんが親戚の家に車で避難する　この段階での避難先の目安：避難先①、②
警戒レベル4 危険な場所から全員避難!!	例）○○小学校へ避難する［お父さんとこどもたち］　この段階での避難先の目安：避難先①、②
警戒レベル5 緊急安全確保	この段階での避難先の目安：避難先③

※災害状況の進展により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

避難完了後

避難後には、家族や大切な人に無事避難したことを伝えましょう

連絡方法

家族の集合場所

避難情報が解除されるまでは、避難先からの外出や移動は極めて危険です。

西区

保存版

水害・津波から命を守る！

大阪市　水害ハザードマップ

このハザードマップの使い方

使いかた1 お住まいの地域は、どのような災害の危険性があるか確認しましょう

大雨・台風時にはどの河川の氾濫により浸水するか、高潮の影響を受けやすいか、地震時には津波の影響を受けるおそれがあるかなど、ハザードマップで確認しましょう。

使いかた2 災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう

災害の状況やあなたの置かれた状況によって、命を守るための避難行動は異なります。大雨・台風、津波の災害ごとに命を守るための避難行動（避難タイミングと避難先）を確認しましょう。

使いかた3 命を守るために、掲載している情報やマイタイムラインを活用し、日頃からの備えを確認しましょう

災害時には様々な情報が発信されます。いざというときにすぐ行動できるよう、掲載している情報や、書き込み式のマイタイムラインを活用し、日頃から備えておきましょう。

避難先・集合場所

災害の種類ごとに避難先・集合場所を確認し、記入しておきましょう。

	避難先・集合場所	連絡先
台風のとき 洪水・高潮		
津波		

大阪市ではどんな水害が起きるの？

大阪市では、河川管理者等（近畿地方整備局、大阪府、大阪市）によって大雨が降った場合や地震による津波が発生した場合の浸水が想定されています。
想定されている水害は、河川氾濫、内水氾濫、津波浸水、高潮の４種類です。

河川氾濫

長時間雨が激しく降ると、河川の増水により堤防が壊れたり、堤防から水が溢れ出して浸水します。

内水氾濫

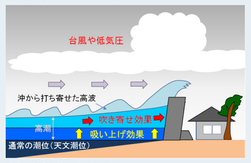
水路や下水道の排水能力を超える大雨が降ったり、河川の水位上昇により十分に排水できなくなると、雨水が溢れ、住宅地や道路などが冠水します。

津波浸水

海底下で発生した地震の断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し四方八方に伝達するものが津波です。

高潮

台風や低気圧の接近により海水面（潮位）が平常時よりも高くなる現象を高潮といいます。潮位が上昇するまた原因は、低気圧による吸い上げ効果と風による吹き寄せ効果です。



出典：気象庁ホームページ

災害時の連絡先

西区役所	06-6532-9972	道路（市岡工営所）	06-6576-0761
西区保健福祉センター	06-6532-9882	電気（関西電力（停電））	0800-777-3081
警察署	110	ガスもれ（大阪ガス）	0120-0-19424
消防署	119	電話の故障（NTT）	113
下水道（市岡管路管理センター）	06-6576-0700	ひかり電話・携帯電話からは	0120-444113
水道（西部水道センター）	06-6531-9211		

情報伝達について

情報の受け取りかた

防災情報メール
市の防災や災害時に必要な情報を、登録した携帯電話やパソコンにメールで配信

事前登録が必要です ▶ メールアドレス touroku@osaka-bousai.net
上記メールアドレスに空メールを送り、登録を行ってください。
右の二次元コードからもメールアドレスを読み取れます。

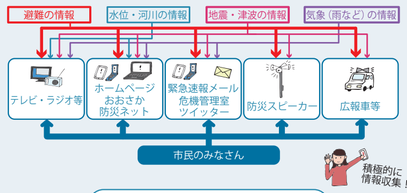
緊急速報メール
緊急情報を緊急速報メールに対応した携帯電話に配信します。

受け取れるかを事前に確認 ▶ 設定が必要な場合もありますので、詳しくは携帯電話会社各社にお問い合わせください。

Yahoo! 防災速報アプリ
避難情報や地震に関する情報をプッシュ通知でお知らせします

地域の設定で「大阪市○○区」を設定しておくと、大阪市域に関する情報が受け取れます。

情報の伝わりかた



災害情報伝達手段の多様化の取り組み
URL https://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000509398.html

情報の調べかた

- 防災スピーカーの放送が聞き取れなかった場合：防災行政無線テレホンサービス（06-6210-3899） 通話料がかかります。
- 災害時には、ＮＨＫテレビ放送の画面で、データ放送ボタンの「ｄボタン」を押すと、避難情報発令状況や避難所開設情報等が視聴できます。

おおさか防災ネット	川の防災情報（国土交通省）	河川防災情報（大阪府河川室）	気象庁	大阪市降雨情報	Osaka Safe Travels
▶ 避難の情報	▶ 河川水位の情報	▶ 河川水位の情報	▶ 気象情報、津波情報等	▶ 気象情報等	▶ 気象情報等
URL http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html	URL https://www.river.go.jp/	URL http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/	URL https://www.jma.go.jp/	URL http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/	URL https://www.osakasafetravels.com/

緊急時のサイレンのパターン（防災スピーカー）

緊急事態の種類	サイレン（警報音）パターン
大津波警報	3秒吹鳴 2秒休止 3秒吹鳴 2秒休止 3秒吹鳴
津波警報	5秒吹鳴 6秒休止 5秒吹鳴 6秒休止 5秒吹鳴
警戒レベル５	20秒吹鳴 10秒休止 20秒吹鳴 10秒休止 20秒吹鳴
警戒レベル４	10秒吹鳴 10秒休止 10秒吹鳴 10秒休止 10秒吹鳴
緊急地震速報（震度５弱以上）	緊急地震速報のチャイム音

サイレンパターンを視聴できます▼
大阪市危機管理室 ホームページ

安否確認用の伝言サービス

災害用伝言ダイヤル 171

災害時に伝言の録音や再生ができます。

1 7 1 に電話する
- 伝言を残すには（録音方法） → 1 を押す → 自宅や自分・家族（被災地内）の電話番号 → 伝言を残す
- 伝言を聞くには（確認方法） → 2 を押す → 連絡を取りたいかた（被災地内）の電話番号を市外局番からダイヤルする → 伝言を聞く

体験利用が可能な日
毎月１日、15 日、（24 時間）
１月１日～３日、（24 時間）
防災とボランティア週間
（１月 15 日午前９時～ 21 日 午後５時）
防災週間
（８月 30 日午前９時～９月５日午後５時）

災害用伝言板

災害時インターネット接続が可能な場合に利用できます。

Web１７１（NTT） URL https://www.web171.jp
NTT docomo URL http://dengon.docomo.ne.jp
ソフトバンク / Y!mobile URL http://dengon.softbank.ne.jp
au（KDDI） URL http://dengon.ezweb.ne.jp

※災害用伝言板は、大きな災害が発生したときに提供が開始されます。サービスの詳細については、NTT 及び携帯電話会社各社の説明を参照してください。

J-anpi 安否情報まとめて検索
各社の災害用伝言板等に登録された安否情報をまとめて検索することができます。
URL https://anpi.jp/

記録的な台風が近づいているとき（高潮）

災害時の情報（警戒レベル）	みなさんの命を守る行動
台風発生	気象庁が発表 暴風警報級の可能性に言及
	府知事からの「府民へのメッセージ」などと連携した大阪市からの早めの避難の呼びかけ
警戒レベル3	市が発令 危険な場所から 高齢者等避難
	警戒レベル３相当 国土交通省・気象庁・府が発表 氾濫警戒情報、洪水警報等
	気象庁が発表 高潮特別警報
警戒レベル4	市が発令 危険な場所から 全員避難!!
	警戒レベル４相当 国土交通省・気象庁・府が発表 氾濫危険情報等
災害発生又は切迫	
警戒レベル5	市が可能な範囲で発令 緊急安全確保
	警戒レベル５相当 国土交通省・気象庁・府が発表 氾濫発生情報、大雨特別警報等

心構えを高める 避難行動の確認、避難準備
たとえば・・
◎気象情報に注意
◎ハザードマップで避難先を確認

浸水しない場所への避難開始
たとえば・・
◎市内に限らず、親戚宅・知人宅・職場など

高齢者等 避難に時間を要する人 は避難
たとえば・・
◎親戚宅・知人宅・職場など、浸水しない（３階以上を含む）より安全な場所へ
◎最寄りの避難所へ
◎警戒レベル４全員避難に備えて非常持出袋を再確認

速やかに避難先へ避難
たとえば・・
◎親戚宅・知人宅・職場など、浸水しない（３階以上を含む）より安全な場所へ
◎最寄りの避難所へ

避難の途中で危険を感じたら、近くの安全な場所へ
たとえば・・
◎最寄りの避難所へ
◎最寄りの避難場所（水害時（津波）避難ビルへ）
◎高い建物や高い場所へ

浸水の中を避難するのはとても危険です。
命の危険　直ちに安全確保！
たとえば・・
◎最寄りの避難場所へ
◎最寄りの避難場所（水害時（津波）避難ビルへ）
◎高い建物や高い場所へ

※河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

避難はどうする？

浸水が浅いなど、自宅にとどまれる方

無理に外に出ない
風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です。自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。

浸水が深いなど、自宅にとどまれない方

早い段階で避難 避難所へ避難するなら開設状況を確認
浸水の可能性のない場所へ早めに避難しましょう。親戚宅・知人宅・職場などへの避難も選択肢の１つです。

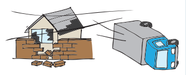
避難するときの注意点

浸水より高い場所へ

浸水よりも高く

強風の中での運転や避難は危険

風の強さは避難行動に影響します。台風等で猛烈な風が吹いているときには、走行中のトラックが横転したりブロック塀や住家が倒壊を始めるおそれもあります。



津波が発生したとき

避難はどうする？

できるだけ早く、浸水被害のない場所へ

揺れや津波情報をきっかけにできるだけ早く、浸水被害のない、場所へ避難しましょう。

◎浸水想定区域の外側
◎最寄りの津波避難ビルなどの浸水しない安全な階
◎最寄りの高い建物や高い場所の浸水しない安全な階

なお、南海トラフ巨大地震による津波（＋１m）は、発生後１１０分で大阪市域に到達すると想定されています。

避難するときの注意点

大きな揺れ、ゆっくりとした揺れを感じたら、海岸や河川から離れ、避難しよう

津波警報が出ているあいだは避難を続けよう

津波情報

予想される津波の高さ 数値での発表（発表基準）	予想される津波の高さ 巨大地震の場合の表現	警報の名称	みなさんの対応
10m 超	巨大	大津波警報（特別警報）	●できるだけ早く、高いところへ
10m 5m< 高さ≦10m			
5m 3m< 高さ≦5m			
3m 1m< 高さ≦3m	高い	津波警報	●逃げ遅れたら、高い建物、高い場所へ駆け上がる
1m 20cm≦高さ≦1m	（表記しない）	津波注意報	●津波情報に注意してください

大雨で河川氾濫が起きそうなとき

災害時の情報（警戒レベル）	みなさんの命を守る行動
警戒レベル1	気象庁が発表 早期注意情報
	心構えを高める たとえば・・ ◎気象情報に注意
警戒レベル2	気象庁が発表 洪水注意報、大雨注意報等
	避難行動を確認 たとえば・・ ◎ハザードマップで避難経路を再確認 ◎周辺の雨の状況に注意
警戒レベル3	市が発令 危険な場所から 高齢者等避難
	警戒レベル３相当 国土交通省・気象庁・府が発表 氾濫警戒情報、洪水警報等
	高齢者等 避難に時間を要する人 は避難 たとえば・・ ◎親戚宅・知人宅・職場など、浸水しない（３階以上を含む）より安全な場所へ ◎最寄りの避難所へ ◎警戒レベル４全員避難に備えて非常持出袋を再確認
警戒レベル4	市が発令 危険な場所から 全員避難!!
	警戒レベル４相当 国土交通省・気象庁・府が発表 氾濫危険情報等
	速やかに避難先へ避難 たとえば・・ ◎親戚宅・知人宅・職場など、浸水しない（３階以上を含む）より安全な場所へ ◎最寄りの避難所へ
災害発生又は切迫	
警戒レベル5	市が可能な範囲で発令 緊急安全確保
	警戒レベル５相当 国土交通省・気象庁・府が発表 氾濫発生情報、大雨特別警報等
	! 避難の途中で危険を感じたら、近くの安全な場所へ たとえば・・ ◎最寄りの避難所へ ◎最寄りの避難場所（水害時（津波）避難ビルへ） ◎高い建物や高い場所へ
	! 浸水の中を避難するのはとても危険です。 命の危険　直ちに安全確保！ たとえば・・ ◎最寄りの避難場所へ ◎最寄りの避難場所（水害時（津波）避難ビルへ） ◎高い建物や高い場所へ

※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

避難はどうする？

浸水が浅い、家屋倒壊の危険性が低いなど自宅にとどまれる方

無理に外に出ない
風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です。自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。

浸水が深い、家屋倒壊の危険性が高いなど自宅にとどまれない方

早めの避難 避難所へ避難するなら開設状況を確認
浸水の可能性のない場所へ早めに避難しましょう。親戚宅・知人宅・職場などへの避難も選択肢の１つです。

避難するときの注意点

大雨の中や周辺が浸水してから外に出るのは危険です

浸水のおそれが高いときには、出歩かずに屋内で待機しましょう。

原則歩いて避難

やむをえず車での避難が必要な方は、高齢者等避難など、より早い段階で避難を開始してください。

浸水した道路は通らない

水が濁って、足元が見えにくくなります。マンホールや排水溝などに転落して危険です。

津波避難ビルについて

大阪市では、河川氾濫や津波から一時的または緊急的に命を守るための施設として津波避難ビルの確保を進めています。
いざというときのために、最寄りの津波避難ビルを確認しましょう。

イメージ